

【地域連携推進会議 議事録（要旨）】

1. 開催概要

- ・ 開催日時：令和8年3月10日（火） 9:30～11:45
- ・ 開催場所：社会福祉法人三愛荘 地域交流ホーム 2階
- ・ 開催方法：対面
- ・ 主催：共同生活援助事業所 第一若草寮・障害者支援施設 清泉園
- ・ 記録者：施設職員

2. 参加者

法人・施設関係者

- ・法人本部（業務執行理事、事務長）
- ・第一若草寮（事業所長、サービス管理責任者、利用者代表、保護者代表）
- ・清泉園（施設長、サービス管理責任者、利用者代表、保護者代表）

関係機関

- ・地域代表（民生委員）（欠席：公民館館長）
- ・相談支援事業所（基幹相談支援事業所 相談員）

※個人名は公表にあたり省略しています。

3. 議題

- （1）参加者紹介
- （2）本会議の目的
- （3）施設概要説明
- （4）施設見学
- （5）サービスの透明性・質の確保
- （6）施設と地域の連携
- （7）利用者の権利擁護
- （8）質疑応答・意見交換
- （9）その他

4. 議事要旨

- （1）参加者紹介

各参加者より所属・役割の紹介が行われた。

- （2）本会議の目的

・地域全体で利用者支援の質を高めるため、関係機関が情報を共有し課題を早期に把握することを目的とすることが確認された。

・地域に開かれた施設として、透明性を確保しながら協働を進める方針が示された。

・主なテーマとして、地域との関係づくり、理解促進、サービスの質の確保、権利擁護が挙げられた。

(3) 施設概要説明

・法人紹介映像を視聴し、定員・職員体制・提供サービスについて説明が行われた。

(4) 施設見学

・居住棟、日中活動の場所などを見学。

・支援の様子、安全対策、感染症対策、プライバシー配慮などについて説明が行われた。

(5) サービスの透明性・質の確保

・財務諸表電子開示システム、障害福祉サービス等情報公表システム、法人広報誌、ホームページ、SNS等で情報公開を行っていることが報告された。

・新任研修、OJT、法人内研修、外部研修など、職員育成の取り組みが紹介された。

(6) 施設と地域の連携

・施設行事への地域住民の参加状況、ボランティア受け入れ状況について説明があった。

・災害時の地域連携や施設間の相互協力体制について共有された。

・地域の福祉関係団体や協議会への参画状況が報告された。

(7) 利用者の権利擁護

・虐待防止委員会の取り組み、苦情解決体制、個人情報保護の指針について説明が行われた。

(8) 質疑応答・意見交換

参加者から以下の質問、意見が寄せられた（個人が特定されないよう要旨化）。

質問

見学先の利用者の高齢化が想像以上に進んでいる印象を受けた。寝たきりになった場合、どのように対応しているのか？

→24時間の医療が必要になると、施設では対応はできない。施設に戻ることが困難な状況となった際には、医療機関、保護者、施設で、その人にあった生活の場所を模索していく。

意見

・他法人の施設を見学したが、その施設と比べると古さが目に付く。坂が多い。

・グループホームには来ていたが、施設はあまり見たことがなかった。若い人から高齢者、いろんな障害のある方がいるので、職員の人も大変そうだった。

・高齢化が進んでいることが気がかりだと感じている。福祉サービスを必要とする方は増え、障害の種類も多様化し、強度行動障害や自閉症など特性の強い方への支援も求められている。現場には難しいお願いをする場面もあるが、渋川市には多くの福祉サービスがあり、地域全体で協力しながら支え合っていればいいなと思った。

・地域の事業所それぞれに自主防災があるので、それを地域防災にも生かされればいいと思った。個人的に何ができるか、町内の人達と何か協力しできることがあるのではないか。

・利用者からは、日常の活動の様子を話してもらった。

(9) その他

・特になし。

5. まとめ

・第一若草寮・清泉園として初、法人としては2回目の地域連携推進会議の開催であった。前回から引き続いての参加者は1名で、他の方は初めての参加となった。委員会設置の趣旨を共有し、本会議の目的を達成できるようより良いかたちを目指していくことで一致した。

・関係機関・地域・施設が継続的に連携し、利用者支援の質向上を図る重要性を再確認した。

6. 次回開催予定

・未定